

平成 18 年 11 月 17 日

各 位

上場会社名 株式会社 安 楽 亭
代表者名 代表取締役社長 柳 時 機
(コード番号 7562 東証第二部)
問合せ先 取締役総務人事部長 安部 一夫
(TEL 048-859-0555)

平成 19 年 3 月期中間及び通期の業績予想(連結・個別)の修正並びに
特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 26 日に公表した平成 19 年 3 月期中間及び通期の業績予想(連結・個別)の修正並びに特別損失の発生についてお知らせいたします。

記

1.平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表数値 (A) (平成 18 年 5 月 26 日発表)	14,495	380	290
今回修正予想 (B)	13,743	94	31
増減額 (B) - (A)	752	286	259
増減率 (%)	5.2%	75.3%	89.3%
前期(平成 17 年 9 月中間)実績	15,163	80	953

2.平成 19 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表数値 (A) (平成 18 年 5 月 26 日発表)	28,570	615	440
今回修正予想 (B)	27,300	300	180
増減額 (B) - (A)	1,270	315	260
増減率 (%)	4.4%	51.2%	59.1%
前期(平成 18 年 3 月期)実績	28,231	267	1,858

3.平成 19 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表数値 (A) (平成 18 年 5 月 26 日発表)	12,600	345	270
今回修正予想 (B)	12,157	117	10
増減額 (B) - (A)	443	228	260
増減率 (%)	3.5%	66.1%	96.3%
前期(平成 17 年 9 月中間)実績	13,273	51	991

4.平成 19 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表数値 (A) (平成 18 年 5 月 26 日発表)	24,830	560	400
今回修正予想 (B)	24,100	300	150
増減額 (B) - (A)	730	260	250
増減率 (%)	2.9%	46.4%	62.5%
前期(平成 18 年 3 月期)実績	25,070	168	1,829

5.業績予想数値の修正理由

当中間期の売上高につきましては、計画に対して約5.2%下回る見込みであります。主な要因と致しましては、米国産牛肉の輸入量が僅少であり期待された全体への影響(牛肉の供給不足の改善と価格の低下)がわずかにとどまったことがあげられます。また、依然として消費者の牛肉に対する不信感が払拭されておらず、加えて直近では社会全体の飲酒を控える風潮も当初の見込みより減収となった要因であります。

経常利益および中間純利益については、商品の安全・安心とクオリティの改善を推進するとともに業務システムの効率化によるコストの削減に努めてまいりましたが、売上高の減少および原材料費の高騰分を吸収しきれなかったことがあげられます。さらに、減損処理、繰り延べ税金資産等の会計処理見直しも要因の一つとなりました。

また、当中間期の状況に鑑み、食材調達に関する環境が未だ厳しく、牛肉消費の本格的回復の見通しが不確実でありますことから、当中間期業績予想の修正をベースに、通期についても業績予想数値を修正いたします。

6.特別損失の計上について

下記のとおり、特別損失が発生となります。(各数値は百万円未満切捨)

(1)個別特別損失

減損損失	80百万円
固定資産除却損	60百万円
関係会社株式評価損	22百万円
(特別損失計)	1億64百万円

(2)連結特別損失

減損損失	80百万円
固定資産除却損	60百万円
(特別損失計)	1億41百万円

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上